

「夢の造形化 伊藤久三郎の世界」

1 はじめに

当館初代館長の梅野隆は、生前にすぐれた仕事を遺しながら正当な評価を得られていない作家や、没後に忘れ去られた作家に光を当ててきましたが、その中でも伊藤久三郎は菅野圭介と並ぶ重要な作家のひとりです。



窓B



木立

2 開催趣旨

日本の前衛洋画の先駆者として知られる伊藤久三郎の画業を紹介する展覧会です。

京都に生まれた伊藤久三郎は、京都市立絵画専門学校(現在の京都市立芸術大学)で日本画を学んだ後に洋画を志して上京します。そして戦前の二科会の前衛傾向の作家を集めた九室会で、シュールレアリスムの影響を強く受けた作品を発表し、吉原治良や山口長男と並ぶ前衛絵画のホープとして活躍しました。

しかし、戦時中に故郷の京都に戻ると以後は二度と京都を出ることなく、戦後は行動美術協会と関連する展覧会にのみ抽象絵画を出品し、一人静かに自己の芸術を深化させ71歳の生涯を終えました。

伊藤久三郎は晩年の制作について、枕元にスケッチブックを置いておき、朝目覚めると見た夢のイメージを描きとめて作品のモチーフにしたと語っています。

京都に生まれ最初に日本画を学んだこの作家は、西洋から流入する前衛絵画をそのまま鵜呑みにすることはなく、日本的な美意識によってそれを消化し、さらに熟考された絵画理論と優れた色彩感覚によって、晩年は誰も描いたことのない独自の画境に至りました。

本展は、伊藤久三郎の初期から晩年までの画業を通覧しますが、最後にたどり着いた晩年10余年の作品を中心に展示します。その爽やかな抒情がただよう清冽で透明感のある独創的な画風を楽しんでいただければと思います。

3 会期

令和4年9月10日(土)～11月27日(日)

9:30～17:00(最終入館16:30) ※休館日月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

ナイトミュージアム開催日 9/10(土) 10/10(月) 11/8(火)は20:00まで延長開館

5 入館料

800 円(団体700 円) ナイトミュージアム開催日は 17:00 以降無料

6 会場

東御市梅野記念絵画館大展示室

7 主催

東御市 東御市梅野記念絵画館・ふれあい館

8 展示の概要

- (1) フォーブとシュールの時代
- (2) 抽象化の時代
- (3) 夢の混沌の時代と夢の造形化の時代
- (4) 伊藤久三郎のエスキース

9 関連イベント(予定)

・オープニングクロストークイベント

9月10日(土)13:00～ 講師:天野一夫 聞き手:大竹永明(梅野記念絵画館館長)

天野一夫略歴

美術評論家。1959年東京都生まれ。学習院大学大学院博士前期課程修了。O美術館学芸員、京都造形芸術大学教授、豊田市美術館チーフキュレーターを歴任。主な企画展に「三上誠展 自己凝視から「宇宙」へ」(O美術館、1990年)、「伊藤久三郎-透明なる叙情と幻想」展(O美術館、1995年)、「近代の東アジアイメージ - 日本近代美術はどうアジアを描いてきたか」展(豊田市美術館、2009年)などがある。



アトラス



鳥と木



牛の尻

お問い合わせ 東御市梅野記念絵画館・ふれあい館

〒389-0406 東御市八重原935-1

TEL0268-61-6161 fax0268-61-6162 Email:umenokinen@ueda.ne.jp

○展示内容について館長兼担当学芸員大竹永明(おおたけ・ながあき)

○広報・取材・画像提供等について学芸員日向大季(ひゅうが・だいき)